

授業科目名	教育相談とカウンセリング	担当教員名	脇屋 素子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目-教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 / 保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 臨床心理士としてスクールカウンセリングや相談業務に携わってきた経験から、事例説明を含めた授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	教科書や参考資料を基に、相談支援の概要や目的に対する理解を深め、具体的な支援方法を学ぶ。また、ロールプレイなどの体験学習をおこない、小さな変化への気づきを含めた感受性を高め、コミュニケーション力も高める。		
到達目標	<p>(1)学校における教育相談の意義と理論を理解する。</p> <p>①学校における教育相談の意義と課題を理解している。</p> <p>②教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。</p> <p>(2)教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。</p> <p>①幼児、児童及び生徒の不応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。</p> <p>②学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。</p> <p>③受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。</p>		
テキスト	教育相談の理論と方法 齋藤崇著（大学図書出版）		
参考書・参考資料等	<p>①幼児保育とカウンセリングマインド（氏原寛・東山紘久 ミネルヴァ書房）</p> <p>②これだけは知っておきたい保育者のためのカウンセリングマインド入門（佐川寛子, 成瀬美恵子 チャイルド本社）</p> <p>資料・プリントは随時配布</p>		
成績評価の方法	○理解度・到達度チェック（筆記形式）：50% ○課題（レポートなど）：30% ○コメントシートの提出：10% ○平常点（受講態度など）：10%を総合して評価する。		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習は授業内で指示する。事後学習はコメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後または質問事項を記載して学務室経由で提出。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	教育・保育相談が求められる背景・意義	(1)-①	
第2回	教育・保育相談支援における心理学の基礎理論（力動的アプローチ）	(1)-①,(1)-②	
第3回	教育・保育相談支援における心理学の基礎理論（行動的・体験的アプローチ）	(1)-①,(1)-②	
第4回	教育・保育相談支援への取り組み（子どもの行動・症状の背景にある意味の理解）	(2)-①	
第5回	教育・保育相談支援への取り組み(カウンセリングマインド)	(2)-②,(2)-③	
第6回	教育・保育相談支援への取り組み（傾聴・受容・共感的理解のロールプレイング）	(2)-②,(2)-③	
第7回	教育・保育相談支援の対象理解 ①子ども	(2)-①	
第8回	教育・保育相談支援の対象理解 ②保護者 ○理解度・到達度チェック（筆記形式）	(2)-①	
第9回	教育・保育相談支援とソーシャルネットワークの理解（事例検討：子どもの問題行動；保育者の観点）	(3)-④	
第10回	教育・保育相談支援とソーシャルネットワークの理解（事例検討：子どもの問題行動 保護者からの相談）	(3)-④	
第11回	教育・保育相談支援とソーシャルネットワークの理解（事例検討：子どもの問題行動 クラス運営の観点）	(3)-④	
第12回	教育・保育相談支援の方法と技術（ロールプレイ①子どもの問題行動についての見立て）	(3)-①,(3)-②,(3)-③	
第13回	教育・保育相談支援の方法と技術（ロールプレイ②子どもの発達段階に応じた対応）	(3)-①,-(3)-②,(3)-③	
第14回	教育・保育相談支援の方法と技術（ロールプレイ③子どもの問題行動への対応）	(3)-①,(3)-②,(3)-③	
第15回	教育・保育相談支援のまとめ（自己理解をふまえて） ○理解度・到達度チェック（筆記形式）	(1)-①,(1)-②,(2)-①,(2)-②,(2)-③,(3)-①,(3)-②,(3)-③,(3)-④	